

学校だより ひかた



海南市立日方小学校 校訓「一生懸命」

①ひろい心 ②かんがえる力 ③たくましい体

合言葉：「チームワークと感謝、そして笑顔」

No. 6 令和2年 10月 29日

10月27日(火) 日方小学校にて 海草地方学校給食教育研究発表会 開催

校長 西村 充司

令和元年度より日方小学校が取り組んできた学校給食教育に関する研究実践の成果と課題を、海草管内の先生方に伝え、実践に生かしていただくための研究発表会を、下の内容で開催しました。海草管内の9割近い学校から参加いただくとともに、海南市教育委員会からは、西原教育長はじめ学校教育課事務局の皆さんに揃って出席いただくなど、盛会でうれしかったです。しかし、普段のこの研究会よりは内容的にも時間的にも短縮した形での開催で、本来ならば27日の研究会当日に実際の授業を観ていただきたかったのですが、授業学級児童や参観者間の新型コロナウイルス感染症予防のため、研究授業は10月14日に実施し、ビデオ撮りして編集、ダンジェスト版での披露となりました。



研究主題『食生活の大切さを理解し、たくましく生きる子どもの育成』

14:30 15:00 15:10 15:40 16:05 16:10 16:30 16:40

受付	開会 挨拶	研究授業 (ダイジェスト版) ビデオ視聴	研究報告	質疑	指導講評	閉会 挨拶
----	----------	----------------------------	------	----	------	----------

開会挨拶 海草地方学校給食教育研究会 会長
研究授業 (ダイジェスト版ビデオ視聴)

学年	教科・領域	単元・題材名	授業者
1年	学級活動	すききらいせずになんでもたべよう	
5年	総合的な 学習の時間	SDGs ～私たちにできる ことを考えよう～	

研究報告 海 南 市 立 日 方 小 学 校 研究主任
指導講評 和歌山県教育庁学校教育局教育支援課 指導主事
閉会挨拶 次期開催校：紀美野町立下神野小学校 校長

各学年学級で工夫し、食に関わる授業実践を重ね、また養護教諭も保健指導や保健室前の掲示、保健だより等を通じて積極的に食に関わる啓発を行うなど、チーム日方として職員みんなで取り組めた点は評価できると自負しているところです。また、例えば昨年度実施したお弁当コンクールや5・6年生の委員会活動での食に関する取り組みなど、全校的に、また児童の主体性を大切にした取り組みも、好評を得たように感じます。また、これらの取り組みは、この学校だよりを通じて、保護者・地域の皆さんにもお知らせしてきました。

栄養バランスを考え、しっかり食べて健康な体をつくり守っていくことや、食品ロスをなくすことなどは、誰にとっても生涯大事なことです。今の学びが、子どもたちの今、そして将来に生かされることを切に願います。

11月の行事予定

日	曜	学 校 行 事 等
1	日	
2	月	4年生保護者：登校見守り活動 2限避難訓練：元火葬場まで
3	火	文化の日 ジュニアランニングチャレンジ
4	水	
5	木	
6	金	授業参観・学級懇談(バザーはありません)
7	土	
8	日	
9	月	民生委員さん：登校見守り活動 1・2年生：交通安全教室
10	火	5年生：6限環境教育
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	3年生：消防署見学 6年生：ミュージカルワークショップ
17	火	2年生：まち探検 4～6年生：クラブ活動
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	地域ふれあい事業：バウンドテニス体験教室
22	日	4・5・6年生希望者：大学生との交流会
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	秋の書写展
29	日	秋の書写展
30	月	

12月の主な行事予定

1	火	3年生保護者：登校見守り活動
2	水	校内マラソン大会(予定)
4	金	4・5・6年生：歯科検診
7	月	全校児童：ミュージカル沖縄 AOC 鑑賞会 13:30～日方小学校体育館にて
8	火	4・5年生：和歌山県学習到達度調査
9	水	
10	木	1・2・3年生：歯科検診
14	月	民生委員さん：登校見守り活動
18	金	6年生：修学旅行
19	土	6年生：修学旅行
20	日	
21	月	6年生：振替休業
24	木	2学期終業式
25	金	冬休み(予定)

行事予定について

11月2日(月)4年生保護者登校時見守り活動

名札をかけ、お近くの交差点等で、挨拶運動も兼ねてご協力をよろしくお願いします。

11月2日(月)元火葬場までの避難訓練

いつ起こるか分からない東南海・南海大地震と、伴って発生する可能性が大きい大津波に備え、海拔2mの日方小学校から、15mの元火葬場までの避難訓練を実施します。約15分、自分の命を自分で守るため、「おはしも」を守り真剣に訓練します。希望する保護者の方に同伴していただいた機会もありましたが、時節柄、今回は児童と職員、そして協力いただく消防署の方のみで実施します。

11月6日(金)13:45～授業参観・学級懇談会

今年度2回目の授業参観と、初めての学級懇談会。2年生以上の皆さんには、懇談会の終わりに、7～8月に実施した東京書籍版学力調査(海南市内全小中学校で実施)結果の個人票を配付させていただきます。また、6年生は修学旅行説明会も実施します。ぜひご出席ください。なお、例年この折に実施していたバザーは、新型コロナウイルス感染症予防のため行いません。ご理解ください。

11月16日(月)6年生：ミュージカルワークショップ

ミュージカル実施団体：沖縄 AOC さんによる事前ワークショップです。ミュージカル鑑賞会本番についての詳細は、12月7日の欄↓をご覧ください。

11月17日(火)4・5・6年生：クラブ活動

その道の専門家であるゲストティーチャーを招聘し、ホッケー、フェンシング、手芸、埴輪づくり・火起こし体験に分かれ、楽しく過ごします。

12月7日(月)全校児童：ミュージカル鑑賞会

13:30～ 日方小学校体育館にて

沖縄AOCによる沖縄燦燦(おきなわさんさん)

「沖縄燦燦」は島々に伝わる沖縄芸能の奥深さ、多彩さを掘り出して創られ、舞台は沖縄の魅力に満ち溢れている。エネルギッシュな踊り、バイオリン、三味線、パーカッションの生演奏で 観る人を幸せな気持ちにする。「五歳若返る!」「何度でも見たい!」と注目の歌舞劇!! スコットランドの「エジンバラフリンジ演劇祭」で五つ星獲得の海外でも評価の高い今作!! まだ観たことないあなたもきっと沖縄燦燦から明るいパワーをもらえるはず♪

～沖縄AOCのホームページより抜粋

なお、こうした文化庁による子どものための育成事業については、希望のある保護者・地域の皆さんにも鑑賞していただきましたが、今年度は感染症予防の観点から鑑賞していただけません。

12月18・19日(金・土)6年生：修学旅行

和歌山県北の多くの小学校と同様に、紀南方面への修学旅行となります。1日目：串本海中公園や那智の滝などを訪れ、宿泊はかつうら御苑。2日目：太地くじらの博物館に寄り締めくくりは白浜アドベンチャーワールドです。感染症対策を十分行って実施します。Go to トラベルの活用により、費用は例年よりずいぶん割安になります。

今年度1学期末に実施した 令和2年度 東京書籍 学力調査 結果

学年	2 年生			3 年生			4 年生		
教科	国語	算数	平均	国語	算数	平均	国語	算数	平均
日方小学校									
海南市									
全国									
学年	5 年生			6 年生			例年 4 月実施の全国学力 学習状況調査の中止、また秋 実施の和歌山県学習到達度調 査の延期を受け、海南市が出 資して 7 月末頃に実施した 学力調査。出題範囲は各学年 とも前年度までの学習内容		
教科	国語	算数	平均	国語	算数	平均			
日方小学校									
海南市									
全国									

海南市や全国の平均と比較した場合、2教科の平均正答率は、2・3・5年生が若干上回り、6年生は大きく上回っています。一方で4年生だけが、若干下回るという結果でした。

その4年生は、国・算とも市平均を下回り、国語では記述式の問題に、算数では活用問題に課題が見られました。

また、2・3年生は、算数で市平均を若干下回りました。ともに、国語科では平均を上回っていた記述式問題が、算数では大きく平均を下回る結果でした。

右の通り、昨年度の和歌山県学習到達度調査結果では、現6年生は国・算とも市平均を若干下回り、5年生は10点近くも下回っていましたが、今回5年生は平均を超え、特に6年生は大きく超えることができました。したがって、高学年は学力的に順調に伸びていると言えます。しかし、5年生は、国・算とも記述式問題で平均を大きく下回っていました。

全校的な取り組みとして、授業においては、和歌山県授業づくり基礎基本3ヶ条の徹底、特に授業の始めに本時のめあてを板書することを意識し、先生も子供もその時間のゴールへの見通しをもって学べるよう取り組んでいます。また、自分の考えを書く時間の確保も重視しています。書くために考え、書くことで自分の思いを整理し、さらに、書きまとめていると、自信をもって意見発表もしやすくなります。

また、高学年は「けてぶれ」学習を積極的に取り入れ、自主学習に力を入れています。結果として、今回の学力向上に結びついていると考えたいです。そして何より、今後のことを考えても、自分で目標を持って自主的に学習できる学び手に育ってほしいと願います。

なお、11月6日(金)、2～6年生は、授業参観後の学級懇談の終了時に、この学力調査の個人票をお配りします。

令和元年度 和歌山県学習到達度調査 結果

	4年生(現5年生)			5年生(現6年生)			
	国語	算数	平均	国語	算数	理科	平均
日方小							
和歌山県							
海南市							

けてぶれ学習

- ・目標：テストで合格点を取ること
目的：自己学習力をつける（大人になっても必要な力）
- ・方法
け：計画（意気込み、理由をつけて学習内容を書く）
て：テスト（正確に厳しく、自分で自分をテストする。）
・・・まちがいは宝物。磨けば磨くだけ輝く。
ぶ：分析（思ったことを書く。自分をほめることも大事）
れ：練習（まちがえた問題に再チャレンジしたり、次に範囲を予習したり・・・方法は色々・・・）

5年生 服のカプロジェクト 11月6日(金)まで

難民の子どもたちに送ってあげようと、今年の5年生も、160cmまでの子供服やズボンを集めています。毎朝交代で校門に立ち、手作り回収ボックスに入れてもらえるのを楽しみに待っています。昨年度は駅やこども園等にも置かせていただきましたが、今年はコロナの影響で学校だけ。「その1つの服がだれかと助ける」、日方小学校の皆さんのご協力、よろしくお願いいたします。



10月1日(木) 4年生 蒔絵体験

紀州漆器伝統会館での貴重な蒔絵体験。黒か赤か黒江漆器のお盆に、花や蝶など数種類から好みの絵柄を自分で選択し、きれいに下絵に糊を塗っていきます。その上に色合いを考えながらきれいなじっくり丁寧に仕上げていきました。海南市が誇る伝統工芸を体験でき、また一つ郷土の素敵さを実感することができました。



地域ふれあい事業 再開

第1回 10月3日(土):バレーボール教室

第2回 10月24日(土):野球教室

令和2年度の土曜事業は、10月3日(土)の『バレーボール教室』を皮切りに、第2回事業10月24日『野球教室』と、やっと再開しました。どちらも参加してくれた子どもたちは、楽しそうに笑顔でプレイしていました。バレー部も野球部も、新入部員を募集しているとのことです。やる気のある人はぜひ頑張ってみてください。

そして、第3回は、11月21日(土)に、これまで日方にはなかった『バウンドテニス』を実施します。既に参加申込書は配布済みです。ミニテニスといった感じの楽しいスポーツです。日方っ子の皆さん、ぜひ参加してください。参加児童にはお菓子などのお土産もありますよ。



10月9日(金) 1年生:みかんとお菓子の振興事業

みかんとお菓子の神様で有名な橘本神社が、海南市下津町にあることから、海南市産業振興課と海南市観光協会



の方がタイアップした形での取り組みで、前回の学校便りでも紹介した、お菓子発祥にまつわる紙芝居を披露してくださったり、クイズを出してくださったり、とっても楽しい雰囲気の中、海南市の魅力の一つをわかりやすく教えていただきました。そして最後には、正式に海南市のイメージキャラクターに就任した、海ニャンが登場してくれ、子どもたちからは大歓声が……。グループごとに記念撮影し、楽しい時間を終えました。



10月6日(火) 社会見学

4月に徒歩による遠足が実施できなかったため、今年度初めての、しかもバスでの社会見学。行き先はそれぞれ県内にとどまりましたが、全校みんなが秋の1日を楽しく過ごしてきました。



1年



3年



1・2年生
こども科学館
プラネタリウム見学



2年



3・4年生
稲村の火の館



4年



5年

5・6年生
南方熊楠記念館
三段壁



6年



10月13日(火) 6年生:次世代育成事業

和歌山県文化遺産課の主催による次世代育成事業。既に5年生の時に、一の鳥居のある藤白神社を訪れた6年生28人は、バスで送迎していただき、田辺市本宮町の世界遺産センターまで行って世界遺産について学びました。とりわけ「紀伊山地の霊場と参詣道」については、詳しい説明を聞いて学習を深めただけでなく、現地学習として三軒茶屋跡から熊野本宮大社までの約3km、実際に熊野古道を歩きました。地元和歌山県の世界遺産の素晴らしさを体感できたことから、これからもその景観美をしっかりと守っていこうとする心が、次世代を担う日方っ子にも宿ったことだとうれしく思います。



10月13日(火) 1・2年生:おもちゃフェスティバル



2年生が1年生を招待してのおもちゃフェスティバル。お兄ちゃん・お姉ちゃんとして、やさしくたのもしく教えてあげる2年生。手作りおもちゃのフェスティバルは、はじめは緊張感もあつてか盛り上がりは今ひとつでしたが、時間の経過と共に子どもたちの楽しくうれしげな歓声は、だんだんと大きく体育館に響き渡るようになりました。コロナ渦での懸念はありますが、こうした学年をまたいだ行事も、少しずつ増えているところ



10月16日(金) 6年生:オーサービジット 絵本作家:宮西達也先生特別授業

日方小学校 6 年生が右の写真の通り、色紙に寄せ書きをして応募した結果、朝日新聞の読書推進企画「オーサー・ビジット」により、絵本作家:宮西達也先生が日方小学校へ来てくださり、特別授業を行ってくださいました。この企画で宮西先生が訪れる学校は年間 1 校だけ。本当によく来ていただけたと改めて感謝しているところです。

以下、当日の様子を、ベルマーク財団のホームページで見事に伝えてくださっていますので、引用・編集させていただき紹介します。



「おっぱい」を読む宮西さん

「おっぱい、好きな人は?」「……」

「あれ? みんなうそついてるでしょ」

和歌山県海南市の市立日方小学校(西村充司校長、児童 163 人)で 10 月 16 日、作家が学校を訪ねて特別な授業をする朝日新聞の人気企画「オーサービジット」のベルマーク版が始まりました。講師は絵本作家の宮西達也さんです。

宮西さんは、最初はスライドを使いながら自作を読み聞かせます。1990 年発行の「おっぱい」をとりあげた際の問いかけに、聞いていた 6 年生 28 人はニヤニヤしつつも黙ってしまいました。そこで宮西さんは予先を変えます。「先生、うそついちゃダメって教えてますよね。先生はおっぱいが好きですか?」。6 年担任の先生は、苦笑いしながら「はい」と大きな声で元気よく答えてくれました。

「おっぱいは、いやらしくないの。本当に素敵なんですよ」。宮西さんはこの作品が初めてヒットし、作家としての地歩を固めたといいます。人間だけでなく、ゾウ、ネズミ、ゴリラ、ブタなど様々な動物がおっぱいを求める姿が登場。とても心温まる絵本です。

「はいー!」「うんこ」「おっぱい」「まねしんぼう」と、宮西さんは軽快なテンポで自作を読み進めます。「絵本は小さい子が読むだけのものではありません。人間が読むものなんです」。そんな宮西さんに、子どもたちはすっかり魅了された様子でした。



8 年前、お母さんに連れられて宮西さんにサインしてもらった絵本を持参した子も



宮西さん作のプテラノドン

エンジンが暖まってきたところで、いよいよ作品作りへ。何を作るのかは当日まで秘密でした。みんなの前に宮西さんが持ち出したのは——何と、ひもで吊るして飛ばせる翼竜のプテラノドン。「わあーっ」「おーっ」。子どもたちの間から歓声があがり、テンションが一気に高まりました。宮西さんらしい鮮やかな色彩の作品に、もうみんな夢中です。

材料として用意されたのは、赤黄青緑の 4 色の画用紙。好きな色を 2 枚持ち帰り、1 枚を丸めて胴体に、もう 1 枚で翼やトサカ、手足などを作ります。みんな早速、ハサミでチョキチョキと紙を切り始めました。貼り付けるためのガムテープも 4 色そろっています。



校長先生もお手伝い

あっという間に羽にとりかかる子もいれば、最初の胴体でずっと悪戦苦闘している子も。作業スピードは様々ですが、隣の子が羽を貼ろうとしたときに胴体をおさえてあげるなど、お手伝いも盛んで、和気あいあいとした雰囲気です。途中、宮西さんは何度も各テーブルを回り、作業のアドバイス。みんなが作るプテラノドンには実に個性的で、胴の太さ、口の大きさ、羽や手足の形など、どれひとつとして同じものはありません。指示とは違うやり方で進めている子もいましたが、それでも宮西さんは「これもいいねえ」と笑顔で応援します。

1時間ほどして、ほぼ形が出来上がってきました。目は自分で白い画用紙に描き、宮西さんのところに持って行って接着してもらいます。予定時間を過ぎてしまったため、吊るための糸は先生の協力です。後で付けることになりました。



宮西さんの前には列が



記念写真だ



出来ました



わたしのはどう？

最後に宮西さんは、自分が絵本作家を目指し、実際にそうなるまでの道のりを話しました。子どもの頃から絵が好きだったこと、美大に進みグラフィックデザイナーになったけど、絵が描きたくて会社を辞めたこと、大学時代のアルバイト経験をもとに絵本を描こうと思い、ありとあらゆる絵本を読んで学び、作品を出版社に持ち込んだら「帰れ！」と言われたこと、それでもある会社の編集者が「ヘンテコだけど面白い」と言ってくれたこと、ようやく出版された自作が並んだ書店で、お客さんに「買え、買え！」と心で祈ったこと……。

「みんな、夢のために頑張ってください。助けてくれる人はいます」と宮西さん。とはいえ、あきらめてしまったり、頑張るのがいやになったりしたら、夢はかなわない、とも。そして「勉強は人と比べることができても、感性は比べられません。一人一人がよいものを持っています。作品を見てもみんな違っている。それが面白い。それを認め合ってください。感性が豊かな人は、人間関係を豊かに出来る人です。そうなるためには、物事に感動することです。本物を見て、感性を育ててください」



空中戦だあ

最後に西村校長が「みなさんにとって今日は一生の宝物の時間になったと思います」と語り、児童代表の さんが「なぜ作家になったか、という話が心に残りました。楽しくて、あっという間に時間が過ぎました。下級生にも今日のことを伝えたいと思います」とあいさつしました。

終わってから改めて感想を聞くと、 さんは「オリジナルの恐竜が作れてよかった。自分の部屋に飾ります」、授業の冒頭であいさつに立った さんは「最初は緊張したけど、話を聞いて、また本が読みたいなあと思った。宮西先生は怖いかと思っていたら、めちゃくちゃやさしくていい人。作品は私の相棒として大切にします」。宮西さんは授業の後、子どもたちの作品すべてにイラスト付きのサインをプレゼントしました。宮西さんの前には、作品を手に順番を待つ子どもたちの長い列ができました。

作品にサインする宮西さん



【以上、この記事の本物はベルマーク財団のホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>をご覧ください】